

## 中国東北(北満州)鉄路の旅「ハルビン・長春(新京)・黒河」の記憶

2011年(平成23年)9月18日～25日

宮岸 清衛

私の企画に賛同されて計14名もの参加者がいたことはとても嬉しかった。先ずはお礼を云いたい。楽しかったでしょうか？

初めて海外へ、初めて、飛行機に乗る方もいました。

旧満州へ初めての人は14名中12名でした。内女子は4名、男子は私が卒業した会社のOB会のメンバーが大部分でした。

平均年齢は68.8歳でしたがすこぶる元気そうでした。

9月19日新潟空港の通関、搭乗等トラブルなく安堵しました。

飛行機の座席は余裕がありそうではあるが、団体客は後ろの隅に固められる可能性があるので機内荷物預けを一番に行い、座席指定に注文をつけて、前方中央を要求したところ、3人に2人で前方を指定してくれ幸先良いなとほくそ笑みしました。

飛行機はロシア製でなくアメリカのダグラス MD90 でした。後方に2機のエンジンがあり爆音に悩まされることなく座席にも余裕があったせいか座席の要望も聞き入れてくれ快適でした。

水平飛行になった途端、昼食の機内食が出た。ご飯にカレーとは珍しかった。中国人はカレーを食べないのかな。飲み物の注文には皆さん迷っていたようです。

我々日本人がいつも飲んでいるものとは少し異なった物があったのです。

時差は1時間、時計を1時間もどす。15時30分ハルビン空港に到着、途中空から大陸と云う陸地の様子が雲のおかげで見られなかったのが残念でした。

ターンテーブルから荷物を待つ間にトイレに入ってみたところ、面白い表記があった。日本では「急ぐとも心静かに手を添えて外に漏らすな松茸の露」。

中国の列車はプラットホームとの段差が高くて女子では、トランクを持ち上げるのは困難、また列車の網棚にトランクを乗せるのも男手を借りなければならないのでメンバーの力持ちにはその役割を与えてあった。

ハルビン空港へ出迎えた全行程案内の大連旅行者の添乗員、王 振華さんは若く体格良く安心、現地ハルビン旅行社の、申 波さんも力強そうで、まあ満足でした。ハルビンはこれでもかと言わんばかりに人と車があふれていた。



荷物を預け座席指定を最良の場所をお願いしている。



初めてのサービス機内食はいかがでした？中国航空でカレーとは珍しい。

前进一小步 文明一大步



ハルビン空港に到着  
迎いのバスに荷物を  
積み込んでいる時の  
各人の行動はあっち  
を見たり、人の多さ  
に目をキョロキョロ  
しながらバスの周り  
にうろうろしてい



飛行機から見た地上の景  
色では、車は少なく疑問だっ  
たが、空港から市街地までは  
車で道路は塞がれており、ど  
う通行するのか心配だった。  
でも自転車がなかった？

初めの協会はともかく、聖ソフィヤ教会はじっくり参観して欲し  
かった。それから松花江河畔のスターリン公園(旧キタイスカヤ  
道り)。東方のパリとも呼ばれている道りへ向かって歩いた。



ハルビン聖ソフィヤ教会



帝政ロシアが東進鉄道を施設開始してから日本が獲得す  
るまでを展示してあり写真と説明文が多く内容も緻密で  
あり、当時満州平野は将来いかに重要かがわかる。

キタイスカヤ道りはロシア風建築物の多い、石畳の並木道であり、ハイヒールを履いての  
歩行は少し危険だがロマンスの街です。



66 年前沢山の日本人避難民がこの  
松花江を渡れず死んでしまった。  
今は素晴らしい松花江河畔公園に  
なって遊覧船が出ている。向かいの  
太陽島は大リゾート地に冬はスケ  
ートリンク場となり賑わっている  
そうです。



コンクリート広場に大きな筆で水をたっぷり浸け  
て字を書いて楽しんでいるグループがあった。

日本人も筆を使うだろうひと筆書いてみない  
かと誘われた。田中さんが挑戦した。

「我们一行今天哈尔滨到着、感谢」

「東北震災支援、感謝、谢谢、谢谢」

と見事達筆で書きあげた。中国の人々から大き  
な拍手あった。我々は田中さんのおかげで面目が  
たった。彼らは我々一行がキタイスカヤ街へ行くの  
を谢谢再见！谢谢再见！と見送ってくれた。